

去る1月21日(水)、当会環境部は今年度の視察研修ツアー「手賀沼の水を学ぶ」を企画、開催しました。

一般住民の皆さんを含め計28名が参加し、北千葉導水ビジターセンター及び手賀沼終末処理場にうかがいました。その結果概要を、以下に当会撮影画像とともにお知らせします。

「北千葉導水ビジターセンター」では導水事業の役割が手賀沼の浄化、浸水対策、都市用水の供給であることが説明されました。また国土交通省職員から導水路に加えて「利根川の治水・防災」と題した出前講座を受講しました。手賀沼の水質浄化のみではなく、利根川と手賀沼の治水対策・防災の重要性を解説いただきました。

「手賀沼終末処理場」では流域下水道や下水処理システムに関する解説を受けた後、処理施設の見学を行いました。終末処理場の機能・重要性和下水道を使用する上での注意点などについて説明いただきました。

今回の視察は「手賀沼の水を学ぶ」をテーマにして、水質浄化に貢献している北千葉導水事業と下水処理に着目して研修を行いました。この視察が水環境への意識を高める一助になれば幸いです。

当会環境部では今後も環境意識を醸成するための活動を進めてまいります。